

始めよう ガーデニング 正統派の松を 飾ってみよう

指導：園芸研究家 中道徹三郎さん
製作：ガーデニングショップ金久 神藤知治さん
大阪府泉佐野市日根野2545
☎072-467-2413
<http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka/>



松の盆栽は、育てるのが難しく初心者が手を出しにくい鉢物の代表格と思われがち。でも、寄せ植えでよく使われるコニファー（針葉樹）の仲間と聞けば印象が変わりませんか。案外、管理しやすいのでチャレンジしてみてください。

➔ 五葉松（ごようまつ）：信州、東北などの山間部に多い。葉が5枚あることが名の由来

和室に重厚感のある松を飾ると、いかにも正月らしくめでたい感じがします。「松||和風」のイメージですが、意外と洋室にも合います。小ぶりの鉢をマンションの玄関や居間の本棚などにさりげなく置けば、新春のすてきなアクセントになるでしょう。

○形の出来上がった盆栽は大きな変形は難しい。しっかりと形作られた株を購入する。

○植え替えは2〜4年に1度行うが、生育の良い小さな鉢はなるべく毎年植え替える。

○6月中旬〜7月上旬に「ろうそく」と呼ばれる新芽を切り取ると、わき芽が出て枝ぶりが緻密になり、葉も短く小ぶりになる。

○肥料は成長期の春（3〜6月）と秋（9、10月）に1度、油力スなどの有機肥料を与える。

○日光を好むので、日の当たらない時間帯は屋外に出す。

○土が乾いたら水をたっぷりあげる。

○用土は山砂の微塵を抜いた水はけの良い土を使う。

✦ 松盆栽の要点

○大半が常緑で厳寒期も屋外で元気に育つ種類が多い。
○やせた肥料分の少ない土地でもよく育つ。
○直射日光を好み、光の当たらない日陰の枝は枯れる。
○1年以上たった古い枝からは新しい芽が出にくい。

✦ コニファー類の基本的な特徴



「ろうそく」と呼ばれる新芽を切り取る



3

1 黒松：海岸沿いに多い。京都の天の橋立の松林が有名
2 意外に洋室にもよく合う
3 大きく形を変えにくいので、初心者はしっかりと作られた鉢を選ぶことが大切



2



1